



清掃ボランティア

地域の清掃活動を行うことにより、地域を愛する心と仲間と協力して積極的に安全に作業を行う態度を育成するため、この時期にボランティアを実施しています。昨年からは、**海と日本 PROJECT** 事務局の協力により、ゴミ袋と軍手を提供していただいています。全校生徒が数人の班に分かれて、通学路や学校に面した国道沿い、近隣の住宅街のごみ拾いをしました。ペットボトルや缶、食品の袋など、たくさんのごみを拾いましたが、小さな活動が、海の環境を守ることに少しでもつながればいいと思いました。そして、保護者の方も2名参加してくれました。



草むらの中から食品トレイや口の開いていないペットボトル、たばこの吸い殻など、細かいごみも丁寧に拾いました。「こんなところに、なぜごみが落ちてるんだろう？」と思うこともしばしば。当たり前ですが、自分はこの風にポイ捨てしないようにしましょう！と、生徒達は感じていたようです。いいぞ！



住宅街を回った1・2年生は、住民の方々から「ごろうさま」と声をかけてもらったようです。とても嬉しいです。これからも、登下校時のあいさつなどをきっかけに、いろいろなことで関わっていきたいです。



今回の事前学習として、10月3日に海ごみゼロ PROJECT 2022、秋田県立大学の境英一先生の講義「海洋プラスチック問題を考えよう」がありました。プラスチックごみにより、海の生物や鳥が誤って飲み込んで死んでしまったり、太平洋に日本の約4倍の面積に及ぶごみの集まっている海域“プラスチックスープ”があるなど、教えていただきました。お話を聞いて、このまま汚染され続けると、海洋生物や海、私たちの健康にも影響を及ぼすのではないかと、危機感を覚えました。

